

行ほか器い

行器ほかいは食物を家から運び出すのに用いる容器です。外居ほかいとも書き、食籠じまろう形式（食物を入れる容器。青銅または彫漆で作り、多くは蓋があつて形は丸い）の割物くわもの（刃物などでえぐつて穴をあけた物）、あるいは三丁四脚の反り脚の付いた円筒形の桶物や曲物、角形の唐櫃からづつ（脚の付かない和櫃わづつに対し、四本または六本の脚の付いた櫃づつ）などがあります。食籠じまろう形式のものの蓋には家紋



などが描かれ、円筒形のものには回りに籬かきをはめ、内部を赤く外部を黒の漆塗りにし、蒔絵まきえが施してあり、脚から紐を通して蓋の上で総角あけまきに結び、運ぶ時には脚から蓋に通った結び紐に枋かぎ（てんびん棒）などを通して運びます。また、葬式のとき不浄火

のため別火で調製した食物を喪家に運ぶその食物のことや、饅頭の粉をこねる木彫りの鉢もホカイと呼んだようです。『宇津保物語』に「油あぶらおほひたる台に据えたる行器ほかい持たせて」とあり、平安時代のころは、おそらく運び台があつたと考えられます。また、中世には主として脚高あしたかの行器ほかいが用いられ、色などを塗らない自然のままの白木のものもありました。しかし、近世になると婚礼などの儀式具として漆塗り・蒔絵まきえなどのものが多くなり、明治以降も祭り・婚礼などの祝いで、祝餅・赤飯などを贈る時に、上に鶴亀・五葉の松などを染め抜いた帛紗あぶらをかけて用いたようです。資料館では、食籠じまろう形式の行器ほかいを展示、紹介しています。

夏休み企画

おりがみ

～紙のふしぎな世界～

【会期】

7月21日(水)

～8月29日(日)

【開館時間】

午前9時～午後5時

【休館日】月曜日

【入館料】無料

お誘い合わせのうえ、お出かけください



笠松町歴史民俗資料館

〒501-6052 笠松町下本町 87

☎ 388-0161 FAX 388-0185

長良川流域市町村の『川文化ネット◇ながろ』交流コーナー

11



武芸川町 武芸川流・川遊び

町の中心を流れる清流武儀川。その河川敷に広がる河川公園は、町内外の人々に親しまれている公園です。パターゴルフ場や芝生広場、水の広場などがあり、休日は家族連れで賑やかです。また、河原が幅広いため、キャンプをするには絶好のロケーション。春から夏に立ち並ぶカラフルなテントや川遊びをする子どもたちはこの時期の風物詩です。そして、いっぱい遊んだ後は、武芸川温泉でリフレッシュ！



【アクセス】 主要地方道岐阜美濃線で岐阜市内より車で40分 東海北陸自動車道「美濃」ICより車で10分
 【問合せ先】企画課（☎0575・46・2311内線215）